

公明党会派視察報告書

日 時	令和7年5月12日(月) 10時00分～12時00分	
視察先	東京都町田市森野2-2-22	
応対者	町田市都市づくり部交通事業推進課調整係 調整係長 皆木 将志 毛利 友紀 成瀬お助けたい 代表 玉木 徹	
テーマ	町田市の高齢者施策について 地域の支え合いによる移動支援	

【地域の支え合いによる移動支援に至った経緯について】

町田市では「まちだ〇ごと（まるごと）大作戦18-20」を実施。市民や地域の「やってみたい夢」へのチャレンジに対して、財政的・技術的支援を行った。この事業から「有償ボランティア『成瀬おたすけたい』」といった地域の支え合いによる移動支援の取組がスタートした。

【主な事業の内容】

- ・『支え合い交通の手引き～始めてみませんか？地域の支え合いによる移動支援～』を作成し、町田市公式HPへの掲載や高齢者支援センターに配布
- ・支え合い交通連絡会の開催・支え合い交通を行う団体の皆様に年に1回集まっていただき情報の周知や共有、団体間の意見交換や交流を目的。情報交換の内容は町田市公式HPで閲覧できる
- ・運行に必要な経費に対して支え合い交通事業補助金の交付

費 目	支 出 例	費 目	支 出 例
消耗品費	筆記用具、ファイリング用品	使用料・賃貸料	会議室使用料
備品購入費	停留所標識、ステッカー	保険料	ボランティア保険料
印刷費	チラシ作成、資料のコピーディ	燃料費	輸送を行うのに直接要した車両のガソリン代など
通信運搬費	予約受付に係る電話料金	その他市長が必要と認める経費	上記に定めが無く、必要なものがある場合には要相談

・補助上限額

補助金は実施の準備に係る費用（初年度のみ）として1事業当たり330,000円、実施に係る費用として1事業当たり180,000円が上限

【質疑応答】

質：地域支え合いドライバーの研修の詳細について

答：「町田市地域支え合い型ドライバー養成研修」とは、福祉有償運送運転者・セダン等運転者の運転資格が取得できる国土交通大臣認定講習会です。町田市高齢者支援課や町田市社会福祉協議会、そして全国で住民主体の移動サービスの立ち上げを支援するNPO法人全国移動サービスネットワークや福祉有償運送を行うNPO法人町田ハンディキャブ友の会が中心となり年に1回開催しています。

【事業の効果・所感】

当団は町田市の中では11団体ある中の1団体「成瀬お助けたい」の代表から具体的な取り組みの話しを伺うことが出来た。高齢者、身体のご不自由な方等への日常生活支援ボランティア団体として2019年1月に設立。街全体で、この活動を知り、支えてもらいたいとの思いで地元の店舗、企業を一つ一つまわり、挨拶、活動の説明をして、賛同・支援を依頼。資金面と活動面でお互いに支える相互協力が可能。2024年度の活動件数では年1442回のうち移動支援は474回で32.9%。「買い物に一緒に行って自分で品物を選びたい」「リハビリや病院まで行くのだが、同行してくれると助かる」などの声に対応できている。2024年度 移動支援利用者のリピート使用回数は平均リピート回数4.9 新規利用者数33.1% リピート者数66.9% これからの問題は、①代表、リーダー格の担い手不足②サポートの高齢化③移動支援の依頼数が年々増加し、コーディネーターの負担増加 その他受付時間を午前中のみ、電話の祭日は自動応答、移動支援受付担当の専任化、カレンダーアプリの共有等などがあげられる。

【今後、愛川町にどのように反映していくのか】

本町においても、高齢化率が上昇しており、2025年以降さらに加速することが予想されている中、身体機能の衰えにより日常生活に不自由を感じる高齢者を支援するために地域住民がボランティアとして集まり、安心感のある支援を提供することを目的に令和4年に設立された。これまでにも成瀬お助けたいと同様の活動をしてきたが、移動支援に関する声があるのは確か。本年度から移動支援が展開されるが大変に貴重な視察になった。運営する側の確保が課題であるが、周知徹底しながら推し進めていかれるよう、他の自治体の先進事例も調査していく。